

町田市内企業・事務所の 事業系ごみの減量・資源化の取組み 優良事例集

2024年7月1日 第1号

1 廃棄物減量の取組み事例

- タブレット等の使用によるペーパーレス化。
- マイカップ・マイボトル・マイバックを推奨。
- 調理や食事から出た生ごみを計量し、食品ロスを防ぐため材料を数値化して調整。
- 食品ロスの取組みで、防災備蓄品等の期限切れが近いものを福祉施設や職員に配布。
- 不用となった文具や什器類等を、掲示板等を利用し、社内やグループ会社内でリユース。
- 廃棄物10%削減を目標に掲げ、目標を意識して事業活動。

2 適正分別と再資源化の取組み事例

- ごみ箱付近に、あいいうえお順のごみの分別表を掲載。
- 分別が分からない従業員のために、「その他分別のわからないごみ箱」を設置し、その箱を清掃員が分別排出。
- ごみ適正排出に関する社員教育を実施。
- 生ごみは回収業者と協力して、豚の餌となるように再資源化。
- 廃プラスチックをより効果的に再生利用するために、複数の産業廃棄物業者とコンタクトを取り、再生利用の取組みを徹底。

3 CSR(環境分野) 環境に配慮した企業の取組み事例

- 食品ロスの取組みとして、職員に不要な食品を持参してもらい福祉団体等へ寄付。
- グリーン購入ガイドラインに沿ったものを購入。
- 無添加の石鹼・ボディーソープ・シャンプー等を使用し、排水時の環境負荷に配慮。
- 毎月1回、事業所周辺の地域清掃を実施。
- 事業所として年に1度、廃棄物の中間・最終処分場へ赴き、現地確認を実施。



→【まずはこちら】事業系廃棄物適正処理
ルールブックのHP

優良事例は、HPで随時更新いたします。

【お問合せ先】

町田市環境資源部環境政策課3R推進係
担当：吾妻・川上・滝・三澤
電話：042-797-0530